

令和7年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	前田 源太朗
論 文 タ イ ト ル	風評被害における買い控えの解消に有効なコミュニケーション方略 ——意思決定モードの二重過程理論に基づく検討——
要 旨	<p>本研究は、風評被害における買い控えを解消するために、消費者に対してどのようなコミュニケーション方略を用いることが効果的であるかを検討することを目的とした。先行研究では、人の意思決定モードに関する二重過程理論に基づき、風評被害による買い控えが生じる心理過程が説明されている。そこで本研究では、原発事故の放射線の影響による農産物への買い控えを題材として取り上げ、感情的コミュニケーション方略、科学的コミュニケーション方略、味へのアピール方略および統制条件を設けて、どのようなコミュニケーション方略が対象の農産物への購買意図を高めるかを実証的に検討した。その結果、科学的コミュニケーション方略が風評被害による買い控えに有効である可能性が示された。風評被害による買い控えとその解消に有効なコミュニケーション方略について考察を行った。</p>